**チーム活動における感染拡大予防について**

2020年5月17日

千葉市若葉区少年軟式野球連盟

会長　曽子　政明

**１、はじめに**

日頃より,皆様には連盟活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在新型コロナウイルス感染拡大により活動休止となっておりますが、緊急事態措置の解除後の生活「新しい生活様式」の提言や、スポーツ活動の再開に向けた感染拡大予防のためのガイドライン等も発表されるようになってきました。千葉市立小学校においても、分散登校を増やしながら6月8日から通常登校予定となっております。連盟といたしましても、各チーム活動再開の際には感染拡大予防に留意する必要があると考え、準備のための案内を作成しました。参考にしていただけると幸いです。なおこの案内は、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直す必要があること御承知おきください。

**２、チーム活動再開時期の目安**

以下3点条件を満たす時期

* 小学校が通常登校となる
* 拠点グラウンドが使用可能となる
* 感染拡大予防対策の準備ができている

なお、長期にわたる自粛生活の影響で子供たちは体力と野球技術が低下していると予想されます。体調不良やケガを避けるため、試合再開の時期はチーム活動再開から約2週間経過した頃が望ましいと考えています。

**３、具体的な感染予防方法**

1）健康管理を心がける

例：十分な栄養をとる

十分な睡眠をとる

自宅で検温等体調確認を行ってから活動に参加する

2）以下の場合は参加を見合わせる

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

3）マスクを使用する

例：選手と指導者は休憩や会話をする際にはマスクを着用する

お手伝いや応援の保護者や家族もマスクを着用する

４）こまめに手洗い、手指消毒を実施する

　　例：グラウンドに入る前後

トイレの後

休憩や食事の前後

５）人が密集し近距離での会話や発声が行われることを避けるためできる限り距離をとる

例：練習時間を分けたり、練習場所を複数用意する。

　　一度に集まる人数を減らす（チームごとに分ける）

　　　　ランニングやストレッチ等の時

　　　　あいさつや応援歌など声を出す時

　　　　食事や休憩の時

車移動の時

＊距離の目安：対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（目安として

２メートル）あるいは斜め前後に位置取る

＊特に車内は3密となります

乗車前に手洗い・手指消毒を実施する

十分な距離を保つことは困難なため窓を開けて換気する

マスクを着用する

大きな声で話さないよう気をつける

６）ウイルスに触れないよう物の共用を避ける

例：複数ある野球道具については個別に使用しできる限り共用しない

ジャグやペットボトルからの飲み物の取り分け

コップ

手拭き、汗拭きタオル

　　＊飲料はペットボトル・ビン・缶などで個別にすることが望ましい

やむを得ず取り分ける場合は使い捨ての紙コップで提供する

飲食物を取り扱うスタッフはマスクを着用する

７）チーム活動に参加した人を把握する

　　例：参加した人を記録する

　　＊感染者が確認された場合に感染拡大を防止するため有効な情報です

記録は1カ月程度保存が望ましい

（参考資料）

厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式」

スポーツ庁ホームページ「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて」

公益社団法人日本スポーツ協会「スポーツイベント再開にむけた感染拡大予防

ガイドライン」